

社 会（地理的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい社会 地理
17	教	出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46	帝	国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116	日	文	中学社会 地理的分野

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	「日本の諸地域」における日本の地域区分と中核とした考察の仕方及び内容 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球的課題）の記載及び知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	単元の導入における工夫	各単元の導入における、興味・関心を引き出す工夫と具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	「地域の在り方」における、調査の手順と方法の具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容とページ数
		⑦	防災教育の充実	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑨	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
(オ)	言語活動の充実	⑩	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	小単元のまとめの具体例

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	○ 「地球の姿を見よう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのように・どのような・どうしたら ～でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「大陸と海洋は、どのように分布しているでしょうか。また、世界はどのように区分できるでしょうか。」 ○ 「地球上のさまざまな場所の位置を表すには、どのような方法があるでしょうか。」
教 出	○ 「身近なものから見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの下に設けたコーナーに「どのように・どのような・どうして ～でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「大陸と海洋の分布にはどのような特徴があるのでしょうか。」 ○ 「地球儀を使って地球上の位置を示すには、どのような方法があるでしょうか。」
帝 国	○ 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのように・どのような・なぜ ～だろうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。」 ○ 「世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。」
日 文	○ 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの左横に設けたコーナーに「どのように・どのような・なぜ ～でしょうか。」等の問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「大陸や海洋は、地球上にどのように広がっているでしょうか。」 ○ 「地球上の国や都市の位置は、どのようにあらわせばよいでしょうか。」

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	「日本の諸地域」における日本の地域区分と中核とした考察の仕方及び内容

	日本の地域区分	中核とした考察の仕方	考察する内容（近畿地方）
東 書	九州地方	自然環境	○ 都市・農村の変化と人々の暮らし 1 近畿地方をながめて 2 大都市圏の形成と都市の産業 3 ニュータウンの建設と都市の開発 4 変化する農村の暮らし
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	人口や都市・村落	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（生活・文化）	
	北海道地方	自然環境	
教 出	九州地方	自然環境	○ 歴史的な視点から、近畿地方の特色を 考えていこう 1 歴史に育まれた地域 2 京都の街並みと伝統文化 3 阪神工業地帯の発展と今後 4 都市の成り立ちと広がり 5 琵琶湖の水の利用と環境
	中国・四国地方	人口や都市・村落	
	近畿地方	その他（歴史的な視点）	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（伝統文化と地域 の変化）	
	北海道地方	自然環境	
帝 国	九州地方	自然環境	○ 環境保全に注目して 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	その他（環境保全）	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口や都市・村落	
	東北地方	その他（生活・文化）	
	北海道地方	自然環境	
日 文	九州地方	自然環境	○ 歴史的背景をテーマに 1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり 2 現在にいきづく歴史的都市の特色 3 港町から世界へ 4 伝統を生かした産業と世界進出 5 歴史を生かした観光業の推進
	中国・四国地方	人口や都市・村落	
	近畿地方	その他（歴史的背景）	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	その他（持続可能な社会 づくり）	
	北海道地方	自然環境	

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

領土をめぐる問題等に関する記載の仕方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土・竹島と尖閣諸島～領土をめぐる問題をかかえる島々～ <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「地理的に見る島々の特色」 「漁業資源にめぐまれた竹島」 「貴重な自然が残る北方領土」 「資源が期待される尖閣諸島」 ・地図 「竹島、尖閣諸島、北方領土の位置」 「竹島の2万5000分の1地形図」 「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」 「北方領土周辺の地形」 「久場島の5万分の1の地形図」 ・写真 「竹島」 「断崖に囲まれた竹島」 「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」 「自然環境にめぐまれた択捉島」 「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」 「尖閣諸島の久場島」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領土をめぐる～日本の国境をめぐるさまざまな動き～ <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土をめぐる問題」 「竹島と尖閣諸島」 ・年表 「北方領土に関する主なできごと」 ・地図 「北方領土とその周辺」 「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」 ・写真 「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」 「竹島」 「尖閣諸島」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領域とその特色 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「国際法に基づいた日本の領土」 「北方領土」 「竹島」 「尖閣諸島」 ・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」 「竹島の位置」 「尖閣諸島の位置」 ・写真 「納沙布岬から見える北方領土の島々」 「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」 「竹島」 「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」 「尖閣諸島」 ・読み物資料 「漁業が盛んだった昔の竹島」 ・脚注 「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場を取っています。」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう <ul style="list-style-type: none"> ・項目 「北方領土」 「竹島」 「領土問題の解決に向けて」 「尖閣諸島をとりまく情勢」 ・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」 「北方領土付近の国境の変化」 ・写真 「羅臼町から見た国後島」 「『ビザなし交流』で色丹島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団」 「竹島」 「竹島に関する資料を展示する『出張竹島展』」 「尖閣諸島」 「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」

【社会（地理的分野）】

観点	（ア）基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球的課題）の記載及び知識・技能を身に付けさせる工夫

	世界の諸地域の地域区分	主題（地球的課題）	知識・技能を身に付けさせる工夫
東 書	アジア州	人口・居住・都市の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナーとして「スキル・アップ」を設けている。 ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を上げたりしている「地理にアクセス」というコーナーを設けている。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	国家間の統合の問題	
	アフリカ州	食料生産や経済発展での支援の問題	
	北アメリカ州	地域格差の問題	
	南アメリカ州	環境保全と開発の問題	
	オセアニア州	多文化社会の形成の問題	
教 出	アジア州	人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。 ○ 本文に丸数字を付け、脚注で本文の記述や言葉を補足し、解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	環境問題	
	アフリカ州	人口・食料問題	
	北アメリカ州	多民族の共存の問題	
	南アメリカ州	環境問題、都市問題	
	オセアニア州	多民族の共存の問題	
帝 国	アジア州	都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理プラス」「共生」「環境」「防災」「解説」というコーナーを設けている。 ○ 本文に丸数字を付け、脚注で本文の補足説明をしている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	経済格差	
	アフリカ州	食料問題	
	北アメリカ州	生産と消費の問題	
	南アメリカ州	熱帯林の破壊	
	オセアニア州	多文化の共生	
日 文	アジア州	経済発展の地域格差や都市問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明している「地理+α」というコーナーを設けている。 ○ 「スキルUP」というコーナーを設けて、解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	統合のかけで進む分離の動き	
	アフリカ州	モノカルチャー経済からの自立	
	北アメリカ州	大量生産・大量消費の生活スタイル	
	南アメリカ州	熱帯雨林の伐採による環境破壊	
	オセアニア州	多様な民族の共生	

【社会（地理的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における，興味・関心を引き出す工夫と具体例

	「日本の諸地域」における興味・関心を引き出す工夫	具体例 (中部地方)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において，1 ページを使い，テーマ，地図や写真，キャラクターの吹き出しを記載している。 ○ 学習内容について説明文がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「活発な産業を支える人々の暮らし」 ○ 地図 「中部地方の地図」 ○ 写真 「中部地方で生産される農産物や工業製品」 ○ キャラクターの吹き出し 「これらの農産物や工業製品は，どの県で生産されたものだろう。」 ○ 説明文 「愛知県では自動車産業が発達しています。生産だけでなく新しい自動車の研究や開発も盛んで，世界の自動車産業を引っ張っている地域です。その一方，愛知県には全国有数の生産をほこる農産物もあり，工業だけでなく農業も盛んです。 また，福井県鯖江市は眼鏡枠の国内生産量の約 90%，世界の約 20%を生産しており，『めがねのまち』とよばれています。そのほか，中部地方の各県には特色ある産業が見られます。 中部地方では，どのようにして各地で特色ある産業が発達してきたのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において，見開き 2 ページに学習の視点，写真や詩を記載している。 ○ 見開きページの左上に「学習の視点」を示すとともに，学習の視点について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の視点 「産業の視点から，中部地方の特色を考えていこう。」 ○ 写真 「名古屋港に並ぶ輸出用の自動車」 「フォッサマグナの断層」 「濃尾平野の輪中」 「噴煙を上げる御嶽山」 「春の高山祭」 「称名滝とハンノキ滝」 「富士山世界遺産センターの展示」 「小千谷縮の雪さらし」 ○ 学習の視点の説明文 「中部地方は太平洋側の東海地方，中央高地，日本海側の北陸地方から成り立ち，独自の発展をとげてきました。ここでは，中部地方をこの三つの地域に分け，それぞれの地域で盛んな産業に注目しながら，中部地方の特色を考えていきましょう。」

【社会（地理的分野）】

<p style="text-align: center;">帝 国</p>	<p>○ 単元の導入において、3ページにわたって、イラスト、地図、写真、キャラクターの吹き出し、「探してみよう！」を記載している。</p> <p>○ 単元の導入の4ページ目、見開き左上に、各単元の問いを示している。</p>	<p>○ イラスト 「となみチューリップフェア」 「白川郷と五箇山の合掌造りの集落」 「高山祭」 「スキー場」 「上高地」 「自動車の生産」</p> <p>○ 中部地方の地図2点</p> <p>○ 写真 「名古屋港の自動車運搬船と積み込み待ちの自動車」 「外国人観光客でにぎわう立山黒部アルペンルート」 「夏の上高地と北アルプスに生息するライチョウ」 「眼鏡枠（フレーム）の製造」 「桃の花が咲く春の甲府盆地を走る山梨リニア実験線」 「金沢箔の工房」 「米どころとして知られる越後平野の広大な水田地帯」</p> <p>○ キャラクターの吹き出し 「港に集められる自動車は、どこで生産されているのかな？」 「スーパーマーケットで新潟県産のお米をよく見るよ。こんな広い平野で米作りをしているんだ！」</p> <p>○ 探してみよう！ 「イラストの中には、小学校で学習したものも含まれています。あなたが知っているイラストを見つけよう。」 「写真1～7の位置を、地図上で確認しよう。」</p> <p>○ 第4節の問い 「中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。」</p>
<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p>○ 単元の導入において、見開き2ページにテーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターの吹き出し、クイズを記載している。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しやクイズという形で問いを示している場合がある。</p>	<p>○ テーマ 「産業をテーマに」</p> <p>○ 中部地方の地図</p> <p>○ 中部地方の面積・人口・県内総生産の帯グラフ</p> <p>○ 写真 「名古屋港のふ頭にならんでいる多くの自動車」 「白川郷の合掌造り」 「観光客でにぎわう上高地」 「富士山をのぞむ日本の東西交通網」 「鯖江の眼鏡枠作り」 「広大なチューリップ畑」</p> <p>○ キャラクターの吹き出し 「こんなに多くの自動車は、どこで生産されているのかな。」</p> <p>○ クイズ 「この自動車はなぜならんでいるのでしょうか。」</p>

【社会（地理的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	「地域の在り方」における，調査の手順と方法の具体例

	調査の手順	方法の具体例
東 書	○ 身近な地域の課題を見つける	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地を，改めてSDGsのゴールの視点からながめる。 ・世界や日本のさまざまな地域に見られる課題を視点の参考にして，自分たちの身近な地域にどのような課題があるか考える。 ・テレビのニュースや新聞から，地域にどのような課題があるか知る。
	○ 課題を調査する	<ul style="list-style-type: none"> ・50年前と現在の写真を比較する。 ・地形図から土地利用の様子を，地域が開発された時期ごとに見ていく。 ・インターネットを使って調査する。 ・図書館で調査する。
	○ 要因を考察する	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の要因やその影響を考察する。 ・図に示しながら，要因を考察したり，影響を推測したりする。
	○ 解決策を構想する	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域の取組を参考にし，より効果的な解決策を見つける。 ・他の地域の事例のメリットとデメリットを，表に整理しながら評価する。 ・地域の実情にふさわしい解決策を考える。
	○ 地域の将来像を提案する	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容を，地図やイラスト等を使用してまとめる。 ・提案は根拠や立場を明確にして，説得力を高める。 ・どのような立場での主張かを明確にする。
教 出	○ 地域の課題をとらえる（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題について，キーワードをあげる。 ・昔から地域に住んでいる人にインタビューをする。 ・郷土史を読む。 ・新旧の地形図を比べる。
	○ 地域の課題をとらえる（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・公共事業のあり方などについて，どのような課題があるのか調べる。 ・地域のハザードマップなどをもとに考える。
	○ 地域の課題を調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・住民へアンケートをする。 ・商店街で聞き取りをする。
	○ 地域に向けて発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子をイラストマップにまとめる。 ・話し合いながら課題の解決方法を提案する。 ・調査して分かったことを，ポスターやレポートにまとめたり，学校のウェブサイトに掲載したりして発信する。 ・発表会を開いて，地域の住民やインタビューした人などに聞いてもらい，感想や意見をうかがう。 ・市役所や町村役場のまちづくり担当の人に提案を聞いてもらい，それに対して意見をうかがう。

【社会（地理的分野）】

帝 国	○ 課題を把握しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の課題や、持続可能な社会に向けて考えたことを振り返る。 ・対象の地域を選定する。 ・問いを立て、持続可能な社会をつくるために、地域の在り方を考える。
	○ 地域をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画書をつくる。 ・電話による聞き取り調査を行う。 ・インターネットなどを使った文献調査を行う。 ・表やグラフ、主題図などを作り、調査で分かったことを整理する。
	○ 課題の要因を考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・類似した課題がみられる地域と比較したり、関連付けて考えたりする。 ・地域の特色をふまえて課題の要因を考察する。
	○ 課題の解決に向けて構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域で行われている取組を、インターネットなどを使って調べる。 ・多面的・多角的に考え、課題の解決を構想する。 ・構想したことを、グループやクラスで発表する。 ・他のグループの意見を踏まえて、さまざまな側面から解決策を見直す。 ・構想に、費用や継続性の面で無理がないか見直す。
	○ 構想の成果を発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・構想したことをレポートやポスター、報告書などにまとめる。 ・学校の文化祭などで発表したり、市区町村の役所の方々にプレゼンテーションソフトを使って提言したり、調査に協力してくださった方に送付したりする。 ・調査結果や結論について、意見や感想をもらい、次の機会に生かす。
日 文	○ 地域の課題と特色をつかもう	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の諸地域」で扱った日本全体の課題をふりかえる。 ・「日本全体の課題」を参考にして班ごとに話し合い、調査テーマと調査する地域を決定する。
	○ 地域の課題の要因を考察しよう - 自然と防災班 -	<ul style="list-style-type: none"> ・防災パンフレットなどの資料を集める。 ・課題に対する地域の取組や、関係する過去のできごとを調査する。 ・地域に長く住んでいる人や働いている人に聞き取り調査を行う。
	○ 地域の課題の要因を考察しよう - 交通と観光班 -	<ul style="list-style-type: none"> ・「立場のちがいによってどのようにとらえられているのか」に注意して、課題を考察する。 ・他の地域の取組をインターネットで調査する。
	○ 課題の解決に向けて構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトをはっきり示す、タイトルをつける、1枚の紙にまとめる、プレゼンテーションソフトを使ってまとめるなど、わかりやすいプラン（提案）になるように工夫する。
	○ まちづくり会議を開こう	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり会議」を開く。 ・さまざまな立場の人の役割を演じて、各班の提案を検討する。 ・話し合いを通して、提案を関連づけたり、提案に優先順位をつけたりして、「わたしたちのまちづくりプラン」をまとめる。 ・プランを改善し、学校全体に発表したり、地域の人々に向けて発信したりする。

【社会（地理的分野）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元や資料等の配列・分量
方法	総ページ数, 各大項目のページ数, 巻末資料等の内容とページ数

	総ページ数	「世界と日本の地域構成」のページ数	「世界の様々な地域」のページ数	「日本の様々な地域」のページ数	「巻末資料の内容」(ページ数)	目次・巻頭資料等のページ数
東書	302	27	107	142	統計資料 (6) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	9
教出	304	19	101	149	用語解説 (6) 統計資料 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	18
帝国	310	24	104	166	さくいん (4) 巻末資料 (3)	9
日文	298	22	95	156	統計資料 (5) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	9

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量	
	視点	⑦防災教育の充実
	方法	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
	日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域（九州地方，東北地方，北海道地方）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害と防災・減災への取り組み 2ページにわたって、自然災害と防災の取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自然災害 ・被災地へのさまざまな支援 ・防災対策と防災意識 ○ 特設ページでは、2ページにわたって、地震や津波の原因や仕組み、被害、命を守る取組について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山灰、梅雨や台風等の災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 2ページにわたって、東日本大震災をふくむ東北沿岸でこれまでに発生した地震と、被害の記憶を引きつぐ取組等について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、雪の中で生活するための工夫、火山による被害を減らす取組について記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害に向き合う 2ページにわたって、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山 ・気象災害 ○ 災害から身を守るために 2ページにわたって、災害から身を守るために、どのような努力がなされているのかについて記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害予測の大切さ ・災害への支援と復興 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山による災害と、自然を利用する暮らしの工夫や、防災について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで1ページを使い、東日本大震災の経験を受け継ぐ取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、災害発生時の避難訓練等について記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のさまざまな自然災害 2ページにわたって、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山災害が多い日本 ・さまざまな気象災害 ○ 自然災害に対する備え 2ページにわたって、自然災害を防いだり、被害を少なくしたりするための工夫について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災への工夫 ・災害への対応 ○ 特設ページでは、2ページにわたって、ハザードマップの読み取り方、防災情報の入手のしかたについて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、火山の噴火と対策について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで1ページを使い、高台に移転した宮古市田老地区の取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、北海道の人々の雪や寒さへの対策について記載している。

【社会（地理的分野）】

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページにわたって、日本で起こる地震、火山災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波による災害 ・火山の噴火による災害 ・地震・火山災害からみた日本の地域区分 ○ 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページにわたって、日本で起こる気象災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな気象災害 ・自然災害と人災 ・気象災害からみた日本の地域区分 ○ 災害にそなえるために 2ページにわたって、防災・減災の取組を記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災へのくふう ・どのように災害と向き合うか ○ 特設ページでは、2ページにわたって、東日本大震災の時の岩手県釜石市の避難行動やハザードマップの使い方について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページにわたって、九州地方の自然災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 4ページにわたって、東日本大震災による影響と復興、災害に強い地域づくりについて記載している。特設ページでは、1ページを使い、災害に強い地域づくりと住民どうしの共助について記載している。 ○ 北海道地方 2ページにわたって、低温と降雪の対策について記載している。
--------	--	--

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方法	資料の種類と掲載数

	世界の諸地域			
	写真	絵図	地図	図表・グラフ
東 書	171	12	52	50
教 出	132	6	52	39
帝 国	155	6	41	53
日 文	145	8	32	63

【社会（地理的分野）】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント，グラフ，レイアウト等

	フォント，グラフ	レイアウト等
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し，本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けで学習内容を示している。「世界の諸地域」「日本の諸地域」では，ページ下に地域名で学習内容を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ左下の文字で学習内容を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと，見開き右側のインデックスで，学習内容を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータには区切りを入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変え，実線と点線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと，見開き右側のインデックスで，学習内容を示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	小単元のまとめの具体例

		「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける言語活動の具体例
東 書	アジア州	グループで、それぞれの地域で経済が成長した理由と、経済の成長によって起こっている課題を表に整理する。単元の探究課題「アジア州は、なぜ急速に経済が成長してきたのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	ヨーロッパ州	グループで、ヨーロッパ統合のきっかけや良い影響、課題を図に整理する。「今後もEUの加盟国を増やして、統合を進めるべきか」について話し合い、理由をふくめて、図に書き加える。単元の探究課題「ヨーロッパ州では、なぜ統合をめぐるさまざまな動きが見られるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	アフリカ州	グループで、「産業」「民族」「人口」の三つの側面から、アフリカに対する国際的な支援が必要だとする主張の具体的な理由になっている事実を、図に整理する。教科書を参考にしながら、アフリカの課題を解決するための具体的な支援について話し合い、図に書き加える。単元の探究課題「アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要とされているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	北アメリカ州	グループで、アメリカ合衆国の発展の様子と、それを支えている技術や人を図に整理する。「今後もアメリカ合衆国の発展は続くかどうか」について話し合い、理由も含めて、図に書き加える。単元の探究課題「北アメリカ州では、なぜアメリカ合衆国への移民が多く見られるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	南アメリカ州	グループで、南アメリカ州の開発と影響について、開発の内容と、もたらす影響を図に整理する。南アメリカ州での開発を、持続可能なものにするために必要なことを考えて、図に書き加える。単元の探究課題「南アメリカ州では、なぜ森林が減少しているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	オセアニア州	グループで、オーストラリアとほかの地域との結び付きの様子や変化、その理由を図に整理する。オーストラリアやニュージーランドでは、なぜ多文化社会を築こうとしているかを話し合い、図に書き加える。単元の探究課題「オセアニア州では、なぜアジアとの結び付きが強くなってきたのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
教 出	アジア州	アジア各地について、なぜ経済が発展したのか分担して調べ、特徴をまとめる。その結果をもとに、「経済発展に欠かせないものは何か」について話し合う。
	ヨーロッパ州	「言葉や習慣が異なる人たちと社会生活を送るために、どのような工夫が必要だろうか。」について話し合う。
	アフリカ州	「アフリカに対して、どのような支援が求められているのだろうか。」について、持続可能な発展をテーマに話し合う。
	北アメリカ州	アメリカ合衆国やカナダの成り立ちの特徴をまとめ、「なぜ活力ある多様で先端的な産業が根づいてきたのか」について、理由を話し合う。
	南アメリカ州	都市へ人口が集中する理由をもとに、「都市の人口増加で生じている問題点」を整理し、どうすれば解決できるのか話し合う。
	オセアニア州	オーストラリアを例に、移民政策が変化してきた理由についてまとめる。まとめたものをもとにして、「他地域との関係を深めていくためにはどのような考え方や工夫が必要か」について話し合う。

【社会（地理的分野）】

帝 国	アジア州	表の中から1つ国・地域を選び、そこで生じている課題の原因と、それに対する取組について考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か話し合う。
	ヨーロッパ州	EU加盟国間での経済格差拡大の理由と、それに対する取組について、「西ヨーロッパの人」「東ヨーロッパの人」の立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
	アフリカ州	モノカルチャー経済からの脱却の妨げになっていることと、モノカルチャー経済に依存しすぎないようにするための取組について、課題の背景を踏まえて考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、私たちができる取組はないか、話し合う。
	北アメリカ州	大量消費の生活様式の課題を考え、それを踏まえて持続可能な社会を実現するために注意することについて考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、私たちができる取組はないか、話し合う。
	南アメリカ州	熱帯林の開発が進められている理由を考え、熱帯林の保全と経済の発展を両立するためにはどのような取組を行うとよいか、「開発業者」「先住民」「ブラジル政府」のいずれかの立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
	オセアニア州	多文化社会となっているオーストラリアでは、かつて、どのような課題を抱えていたのか考える。多文化社会を維持・発展させるためには、どのような取組を行うとよいか、「先住民」「移住してきた人々の子孫」「近年に移住してきた人」のいずれかの立場で考える。グループになり、どのような取組を優先的に行うことが大切か、立場を明らかにして話し合う。
日 文	アジア州	東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア・中央アジアにある国々の経済発展の要因や課題を、表にまとめる。どのようなところが共通していて、どのようなところが異なっているのか、という問いに対する答えを考える。
	アフリカ州	「アフリカの国々がモノカルチャー経済からの自立をはかるにはどうすればよいか」をテーマに、ウェビングマップの「輸出用の農産物の多角化」「工業化」を参考に、「フェアトレード」から連想する言葉やアイデアを図の空欄に書き込む。
	南アメリカ州	ガラパゴス諸島の環境をそこなうことなく観光を楽しむアイデアや活動を紹介する観光用パンフレットの表紙に掲載する「キャッチフレーズ」を考える。2枚の写真から観光パンフレットの表紙に使う写真を選び、写真に合ったキャッチフレーズを考える。グループで考えたキャッチフレーズを発表し、なぜそれを選んだのか説明する。
	オセアニア州	オセアニアの学習をふりかえり、「世界のなかの日本」「日本のなかの世界」について考え、話し合う。「世界のなかの日本」では、世界で通じる日本語をグループで出し合い、通じるようになった経緯を考える。「日本のなかの世界」では、どのようなところに表示されているか、何語で書かれているか、どのような人に対する表示なのか、といった点に注目しながら、住んでいる地域の多言語表示を探す。